

査読者の皆様へ

Journal of Forest Research

編集委員長

この度は、Journal of Forest Research に投稿された原稿の査読をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。査読をお願いするにあたり、本誌の審査方針等について説明させていただきます。

1. スコープ

本誌のスコープは以下の通りです。

Journal of Forest Research publishes original articles, reviews, short communications, and data notes. It covers all aspects of forest research, both basic and applied, with the aim of encouraging international communication between scientists in different fields who share a common interest in forest science.

2. 審査方針

本誌では、**分野**の適切さ、**論理性**、**信頼性**、**新規性**、**普遍性**および**有効性**の視点で審査を行います。

本誌は、現時点では森林科学分野のいわゆるトップジャーナルではありませんが、トップジャーナルとの区別は、掲載される論文に対して**新規性**および**普遍性**をどの程度要求するかのみであると考えられます。学術論文としての質を担保しつつ、森林および森林管理に関する優れた研究成果をできるだけ多く掲載していくために、以下のような判定基準を基本に厳正な審査をお願いいたします。

- 1) **新規性**が著しく高くはない原稿、あるいは**普遍性**にやや物足りない部分のある原稿（適用範囲がある程度限定されるケーススタディ）であっても、一定の**新規性**が認められ何らかの重要な示唆を含み、その**論理性**および**信頼性**が担保されていれば、基本的に掲載可とする。
- 2) **新規性**や**普遍性**に優れていても、**論理性**および**信頼性**が担保されない原稿は掲載不可とする。

なお、審査の各視点の詳細については、以下を参考にさせていただきますようお願いいたします。

①分 野: 上記のスコープに合致していること。

※編集委員が事前に判断し、合致しない場合は査読に回さないようにしておりますが、もし査読原稿がスコープに合致しないと判断される場合は、その旨コメントいただければと思います。

②論理性: 論旨の展開が明快で、記述も簡潔明瞭であること。

論文として掲載するうえで最も重要な項目ですので、厳正にご審査ください。

③信頼性: 結論等が信頼するに足る根拠で示されていること。

データの量および質に加えて、解析方法が適切であるかどうかについてもご審査ください。ただし、最新の高度なデータ分析方法ではなくても、最低限の論理性が担保されていれば、ある程度容認する方向もご検討いただき、解析方法の変更や新たな解析の付加を要求される場合は、著者に過度の負担を強いることのないようにしてください。解析方法の修正についてコメントされる場合は、その必要度（現状でも許容できるが論文の質を上げるうえで推奨される解析なのか、それとも論文として成立させるうえで必須の解析であるのか）を、明確にお示しください。

④新規性: 内容に新たな知見が盛り込まれていること。

新規性があまり高くない論文でも、何らかの新しい知見が提示され一定の新規性が認められる場合は、できるだけ掲載可の方向でご検討ください。

⑤普遍性: 得られた結論等が、時や場所を越えて適用可能であること、または、普遍性について考察されていること。

普遍性があまり高くないと判断される原稿においても、論理性と信頼性が担保されている場合は、普遍性の低さを理由に却下するのではなく、考察内容の限界を記述させて掲載可する方向でコメントしてください。

なお、本誌は国際誌ですので、掲載論文は海外読者が興味を持てる課題設定がなされ、納得できる議論が提示されていることが望まれます。しかしながら、特に野外科学の論文では、多くの場合どうしても研究対象が一部の地域等に限定されます。したがって、特定地域の調査事例であることのみをもって研究内容の普遍性を低く評価しすぎないようにご配慮ください。また、一定の国際性を有していれば、国内事例であっても積極的に掲載する方向でご審査ください。逆に、重要なケーススタディである場合も、研究内容が当該分野の海外読者の興味に資するものであるか、また、そのことが海外文献を含めた十分なレビューに基づいてしっかり記述されているかについては、厳正に要求していただければと思います。

⑥有効性: 内容が森林・林業研究の発展、あるいは森林管理に役立つものであること。

上記⑤と同様に、分野の性質上、有効性の範囲が限られる場合もあることをご了解の上、評価いただければと思います。

3. その他の留意事項

査読に当たりましては、下記の点にご留意いただきますようお願いいたします。

- 1) 査読コメントは英語で作成してください。仮に著者が日本人のみであっても、別の査読者や担当委員が日本語を理解できない場合もあることをご理解ください。
- 2) 査読意見は、総合的なご意見と具体的修正意見とに分けてご指摘下さい。
- 3) 修正等のご意見は、第1回目の査読で全てご指摘下さい。書き直しても掲載の可能性がない場合は、はじめから却下の判定をお願いします。
- 4) 複数の査読者ならびに担当委員の意見をもとに最終判定しますので、掲載の可否は当委員会にお任せ下さい。また、リジェクトのご意見をいただいた場合も、担当委員の判断により修正・再審査となった場合は、修正後の原稿の再審査をお願いする場合がありますことをご了承ください。
- 5) 英文につきましては最終的に専門家による校閲がありますが、英文が甚だ不備で審査が

困難な場合は、そのままご返送下さい。

以上